

1. Title of the Invention;

A mechanism to erect forceps in an endoscope

2. Scope of Claim for a Patent;

A mechanism to erect forceps in an endoscope, wherein a rotating part having a pair of operative pieces is provided in the distal end opening of an endoscope while having gaps provided on sides thereof in the rotational direction so that when the rotating part is rotated in a state in which forceps is inserted in the gap of the operative piece, the pair of operative pieces are adapted to bend the forceps while pushing the forceps from the sides opposite to each other at a deviated position in the longitudinal direction.



特 許 願

昭和47年12月17日

特許庁長官 殿

1. 発 明 の 名 称

ナインキヨウ シ キリツ キコウ
内視鏡におけるかん子起立機構

2. 発 明 者

マエノチロウ
東京都板橋区前野町6-24-2-308

チ カマ トシ オ
千 寇 俊 夫 (ほか 名)

3. 特許出願人

ホンコマゴメ
東京都文京区本駒込6丁目13番8号

マサダセイザンロ
株式会社 町田製作所

マサ ダ ツネ オ
代表者 町 田 恒 雄 (ほか 名)

4. 代 理 人

東京都港区新保2丁目16番1 ニュー新保ビル703
電話(503)7811番(代)

6002 弁護士 北 村 欣 一
(ほか 3 名)

①9 日本国特許庁

公開特許公報

①特開昭 49-82188

④3公開日 昭49.(1974) 8. 7

②1特願昭 47-125168

②2出願日 昭47.(1972) 12. 15

審査請求 未請求 (全3頁)

庁内整理番号

⑤2日本分類

6468 54

94 A11

6468 54

94 A215

明 細 書

1. 発 明 の 名 称

内視鏡におけるかん子起立機構

2. 特 許 請 求 の 範 囲

内視鏡の先端開口部に側面に回動方向に間隔を存して一対の作動片を有する回動子を設け、該作動片の間隔にかん子を挿通した状態で回動子を回動するとき、一対の作動片はかん子を長さ方向にずれた位置で互に反対側から押圧してかん子を彎曲させるようにして成る内視鏡におけるかん子起立機構。

3. 発 明 の 詳 細 な 説 明

本発明は内視鏡に挿通したかん子の起立を容易軽快に行なりようにした機構に係るもので、内視鏡の先端開口部に側面に回動方向に間隔を存して一対の作動片を有する回動子を設け、該作動片の間隔にかん子を挿通した状態で回動子を回動するとき、一対の作動片はかん子を長さ方向にずれた位置で互に反対側から押圧してかん子を彎曲させるようにして成る。

本発明の実施例を別紙図面に付て説明する。

第1図において(1)は内視鏡を示し、その先端開口部(2)を通してかん子(8)を突出させるようにし、開口部(2)内に回動子(4)を軸(5)で取付け、これを内視鏡(1)の基部からワイヤ(6)により操作して回動を行なりようにした。

回動子(4)には側面に回動方向に対し適宜の間隔(9)を存して一対の作動片(7)(8)を突設し、かん子(8)を作動片(7)(8)の間隔(9)を通して先方に突出させた第1図Aの状態からワイヤ(6)によつて回動子(4)を引けば、これが回動して両作動片(7)(8)はかん子(8)に対しその長さ方向に間隔(9)の長さだけずれた位置で互に反対側から押圧して第2図Bで示すようにかん子(8)を彎曲させるので、極めて容易軽快にこれを彎曲させることができる。第2図A、Bに示すものは回動子(4)にその軸(5)の反対側に一対のワイヤ(6)(6)を取付け、そのいづれか一方を引くことにより回動子(4)の回動方向を互に反対にすることによつてかん子(8)の彎曲方向を選択することができる。

特開 昭49-82188 (2)

又第3図A、Bに示すものは、一対の作動片(7)・(8)を回動子(4)に間隔(9)を存して突出させたもので、一対の作動片(7)・(8)相互の回動軸(5)に対する位置間隔、形状等は任意設計することによつてかん子(8)の彎曲の方向、角度を調整することができる。

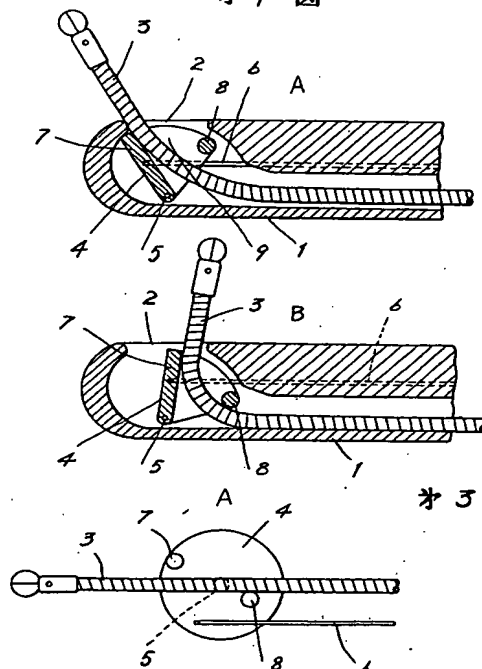
従来この種のかん子を彎曲させるものとしては作動片によつてかん子の先端部を一方に押送し、他側面は内視鏡の固定部材によつて支承させるを一般としたが、本発明によるときは作動片によつてかん子を一側を押送すると同時に、かん子の長さ方向にずれた位置で他側に横断的に押すことによつてその彎曲を極めて容易且輕快に行なうことができる効果を有する。

4. 図面の簡単な説明

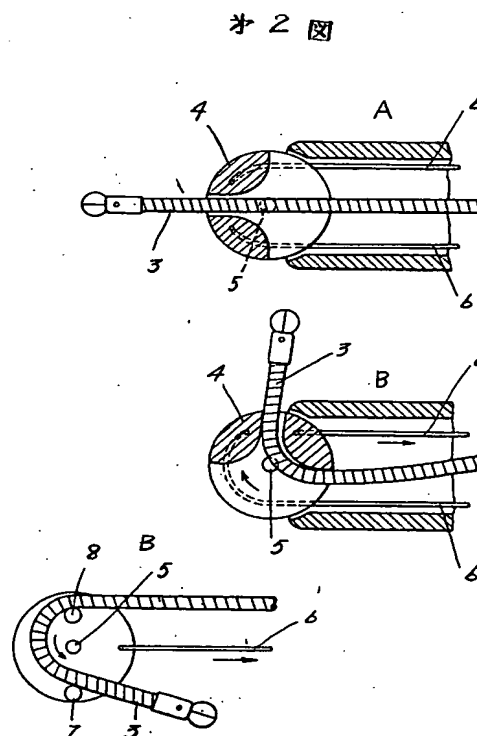
第1図A、B、第2図A、B、第3図A、Bともに本発明の作動状態の実施例を示す断面側面図である。

(1)・・・内視鏡、(2)・・・開口部、(8)・・・かん子、
(4)・・・回動子、(5)・・・回動軸、(7)・(8)・・・作動片、

第1図



第2図



5. 添付書類の目録

(1) 明細書	1	通
(2) 図面	1	通
(3) 願書副本	1	通
(4) 委任状	1	通
(5) 出願者登録状	1	通

特開 昭49-82188 (3)

6. 前記以外の発明者、特許出願人または代理人

(1) 発明者

(2) 特許出願人

(3) 代理人

東京都港区新橋2丁目16番1 ニュー新橋ビル703

6432 弁護士 北 村 和

同 所

7067 弁護士 鎌 田

同 所

7559 弁護士 鈴 木 栄